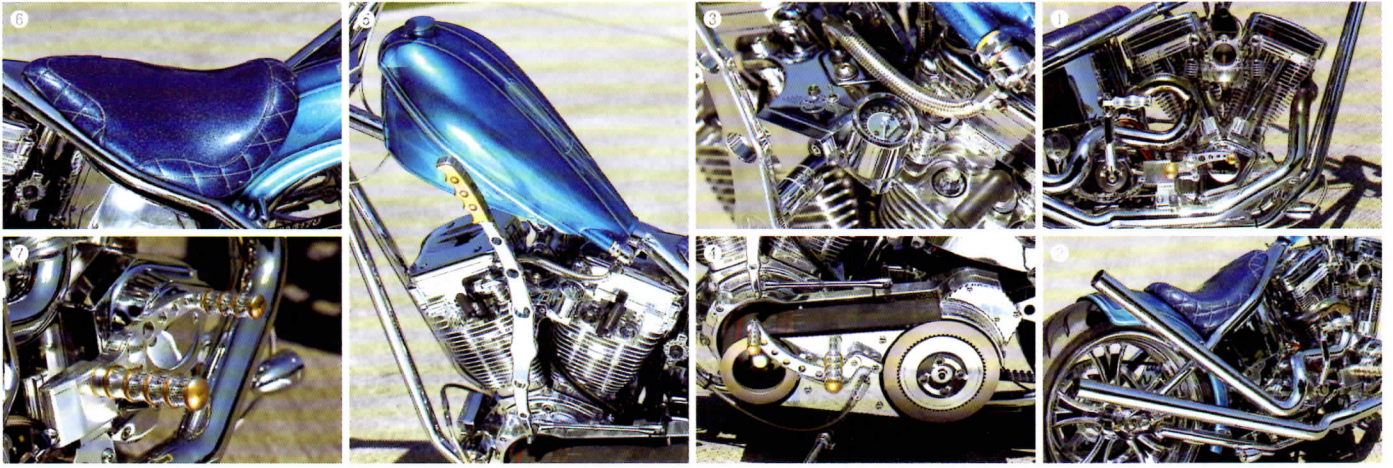


エボリューション進化論  
Theory  
Evolution

チョッパーの黄金律を守りつつ、独自のセンスでネオ・チョッパーとなったマシン。隙のない美しき一台といえるだろう。





①搭載されるエンジンはS&S製パーツで組み上げられたEVOモーター。サイズは96cu-inに設定され、ストリートユースでは余裕のパワーを示す。②直線を交差させて複雑なレイアウトを持つエキゾースト。当然ワンオフである。③メーターはエンジン左サイドにミニタイプをマウント。ハンドル回りをすっきりさせる常套手段だ。④オープンプライマリーはプリモ製ベルトドライブ。プロクラッチも装備されている。⑤ごく自然にスタイルへ溶け込んでいるハンドシフト。その造りにも妥協は一切見られない。⑥シートはセレクトッドによるワンオフ物。車体カラーに合わせた表革も美しい光彩を放っている。⑦フットコントロールはKUSTOM TECKを使用。まるでワンオフで製作されたかのように、このチョッパーと見事なマッチングを見せている。

それまでの窮地からH-D社を劇的に救い、以前とは比べものにならない信頼性と性能を我々に見せ付けたエボリューション・エンジン。しかし、その登場からすでに25年以上が経過し、すでに純正ラインナップはツインカムに取って代わった今、EVOを選択する理由とは何なのだろうか……。

『都会に似合う、アーバンチョッパー』を信条とし、スタイリッシュなデザインのみならず、こと走りという点に關しても、こだわりを持つ新進気鋭のシヨップ、セレクトッド。その代表である西岡が以前所有していたバイクであり、後に客のオーダーでモディファイを受けたのがこのチョッパーだ。

そのスタイルはまさにセレクトッドならではの洗練されたものとなっており、高めにセットされたネック位置とフォークの長さ、タンクのデザインとマウントバランス、クローム処理されたフレームと美しい光の反射を見せるペイントなど、特筆すべきポイントは数多い。だが、この最新のシャシーに搭載されるのはEVOクローンであり、そこにはこのマシンがもとで、EVO最終年である99年に製作されたという理由があることも確か。だが、実はその構成にもセレクトッドの求める『走り』が隠されているのだ。

ルックスこそはEVOそのものであるが、構成パーツはS&S製を多様し、排気量は96cu inへとアップ。イグニッション・モジュールにはツインテックを組み合わせ、街乗りでは十分すぎるほどのパフォーマンスが与えられている。しかし、このマシンにEVOが選ばれた理由はそれだけではない。セレクトッド西岡は、搭載するエンジンの

## SELECTED CUSTOM MOTORCYCLE

# パフォーマンスとバイブレーション、その双方を両立させるための選択。

文=アッキー加藤 text by AKI KATO 写真=渡辺まこと photographs by MAKOTO WATANABE  
取材協力=セレクトッド・カスタム・モーターサイクル phone 045-252-2933 <http://www.selected.co.jp/>



ロングフォーク系ではあるが、あくまでライディングに支障を来す設定ではない。『走り』こそセレクトッドの信条、である。

選択についてこう語った。

「リジッドに載せるのなら、パフォーマンスとバイブレーションをトータル的に考えてEVOなんです。バランス内蔵ツインカムは振動が少ななくてツマらないうし。創るマシンそれぞれで合ったエンジンを選んでいますね」  
見てくれとパフォーマンスだけでなく、走行時にライダーの五感を刺激するマシン……そこにはやはりEVOと  
いう選択肢は欠かせない。



DECONT CUSTOMS

## TAKESHI KAKU PICK

SELECTED CUSTOM MOTORCYCLE

PHONE : 045-252-2933  
WWW.SELECTED.CO.JP

## マイノリティーな存在感。それこそが決め手かな。

「これまで俺も色々なスタイルのカスタムを創ってきたけど、やっぱり一番好きなのは何だかんだ言ってもジェシー・ジェームスが手掛けたネオ・チヨッパー的な雰囲気のもの。決して今も流行っているというわけではないんだけど、自分の好みはそう簡単には変わらないし、アレに普遍的なカッコ良さがあるように感じるんだよね。」

「今のシーンの流れって、どちらかというと古いマシンを小さく、コンパクトに纏める傾向にあると思うんだけど、見ても分かれるとおり、この一台はまったく逆。大柄で威風堂々とした車格が与えられているんだけど、そこが個人的に魅力を感じる部分かな。世間の風潮に迎合していないしね。」

「実際にマシンを間近でみるとコンパクトなものより迫力あるし、乗って目立つのもこういうスタイルの良さだと思つよ。誰が見てもチヨッパーって分かるしさ。欲をいえば、あと10台くらいこんな感じのマシンが会場にあつたらかなりカッコつくんだろうけどね(笑)。ハナシが逸れちゃったけど、現

実として身体の大きい人なんかだと、こういうカタチの方が乗ってる姿も自然だよ。やっぱりバイクは単体で見た時も大事だけど、人が跨った時のシルエットや一体感も重要なポイント。結局は乗りものなわけだしさ。」

「それと、この手のスタイルは凄すぎて所有するのはちょっと敬遠しちゃう傾向があるんだけど、だからこそ逆に所有感も高まると思う。普通じゃないっていうと陳腐かもしれないけど、結論的にマイノリティーな存在なわけだからさ。街を歩いててもチヨッパーはそこそこ走ってるけど、この一台みたいなキレイに纏めた派手なマシンがないのがその証拠だよ。」

「選ぶ立場の意見としてはおかしいかもしれないけど、やっぱり自分もビルダーなんで、単純にこのマシンを見て触発された部分も少なからずあるかな。最近、この手のストレッチしたハデなチヨッパーを創ってないから、久々にやってみたくなったよ。やっぱりカッコいいなって素直に感じだし、良い刺激をもらった気がするよね。」

